

平成 27 年度  
第 2 次環境基本計画実施状況  
(重点的取組)

三条市

## 1 資源の循環と再生可能エネルギーの活用

小項目	主要施策	実施内容
1 バイオマス資源の活用	(1) 堆肥化の推進	・堆肥の原料としての生ごみ及び剪定枝の処理手数料について本格無料化し、搬入量の確保を図った。
	(2) 燃料化の推進	・平成28年5月オープン予定の保内地区交流拠点施設にペレットボイラー1基を導入し、二酸化炭素排出量の削減を図った(年間10.1t-CO2削減の見込み)。
2 再生可能エネルギーの活用	(1) 間伐材等を活用した再生可能エネルギーの創出	・木質バイオマス発電所の保内工業団地への誘致に向け、発電事業者との協議、必要な手続き関係の支援を行い、平成29年11月の発電所稼働に一定の道筋をつけた。【参考資料1】
	(2) ものづくりの技術を活かした再生可能エネルギーの利用促進	・民間企業における小型水力発電装置開発への支援を行い、吉ヶ平山荘の電源装置として設置した。

## 2 住み続け選ばれるまちの実現

小項目	主要施策	実施内容
1 持続可能な社会の基盤づくり	(1) 農地・里山環境の保全	・完熟堆肥の利用を拡大し、環境にやさしい堆肥の流通を促進するため、緑のリサイクルセンターにおける余剰剪定枝のくん炭化に取り組み、それを活用して良質な堆肥を生産する仕組みについて検討を行った(平成28年度当初予算に燻炭製造機の設置費用を計上)。【参考資料2】
	(2) 空き家等の保全及び有効活用	・空き家対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正し、空き家及び空き地の対策について法と条例との整合を図った。また、市内の空き家の実態を把握するための調査内容等について検討を行った(平成28年度当初予算に調査費を計上)。 ・市内に所在する空き家情報を一元化し、所有者と希望者のマッチングをすることで空き家物件の解消を図る「空き家バンク制度」を、公益社団法人新潟県宅地建物取引業協会との「三条市空き家バンク制度に関する協定」を経て、平成28年11月に開始した。
	(3) 既存施設の有効活用	・旧第一中学校、旧一ノ木戸小学校、旧条南小学校跡地の有効活用を図るため、公園の整備を行った。
2 まちの魅力向上への取組	(1) 豊かな自然を生かした環境整備	・環境関係団体等と協力し、自然を感じる体感型イベントを実施した(里山観察会、炭焼き体験、自然観察雪上レッキング など)。 ・給食に三条産の米を使っている首都圏の小学校児童を対象として、米の収穫体験を実施した。

小項目	主要施策	実施内容
2 まちの魅力向上への取組	(2) まちにおける魅力的な空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかに市民が気軽に出かけ、交流できる施設「まちなか交流広場」の整備を行った。</li> <li>・歩車共存道路の実施箇所について検討を行った。</li> </ul>
	(3) 公共交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の外出促進及び負担軽減を図るための社会実験として、デマンド交通において複数で乗車した場合の利用料金の割引を行う「デマンド交通おでかけパス」の運用を平成28年1月から下田地域在住の65歳以上の住民を対象に開始した。【参考資料3】</li> </ul>

### 3 新たな環境啓発・環境教育の推進

小項目	主要施策	実施内容
1 裾野を広げる環境啓発の推進	(1) 市民、事業者への環境啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ拾いにスポーツの要素を加え、楽しみながら環境美化に貢献できる「スポーツゴミ拾い大会」を平成27年10月に実施した。</li> <li>・環境啓発施設「かんきょう庵」において、四季を感じ、過度に空調等に頼らず楽しく過ごすことのできるイベント「かんきょう庵DE四季を感じNIGHT」を実施した(5月、8月、10月、2月)。</li> </ul>
	(2) 戦略的な情報発信、情報収集体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三条市環境情報だより「エコちゃんサンちゃんからの手紙」を毎月発行し、公共施設への設置の他、ホームページにも同内容を掲載することで環境啓発を図った。</li> <li>・環境啓発イベントについて、市の広報紙の他、フリーペーパーを活用して広く周知を図った。</li> </ul>
	(3) 関係団体との連携と人材活用	
	(4) 新たな担い手の育成	
2 未来を創る環境教育の推進	(1) 小中一貫教育における環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコクラス認定制度を引き続き実施した(6クラス、児童数153人)。また、エコクラス取組校の拡大に向け、実施内容の見直しを行った。</li> </ul>
	(2) 体験型環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコクラスの取組校に対して環境出前教室を実施し、環境NPO法人からの講師を派遣する中で廃油から石鹼を作るなどの体験型環境教育を実施した。</li> </ul>

# 1 資源の循環と再生可能エネルギーの活用

## 1 再生可能エネルギーの活用 (1) 間伐材等を活用した再生可能エネルギーの創出

### 1 発電所の概要

- (1) 名称：SGETグリーン発電三条合同会社  
三条保内発電所
- (2) 誘致場所：三条市保内工業団地（12,584m<sup>2</sup>）
- (3) 種類：汽力発電
- (4) 出力：6,250kWh（発電規模）  
5,450kWh（送電端）

### 2 これまでの経緯

- H26.11～ 木質バイオマス発電所誘致に向けた発電事業者との協議
- H27.8.21 SGETグリーン発電三条合同会社が東京都の官民連携ファンドの投融資を受けた旨プレスリリース（同日都知事記者会見）
- H27.8.27 木質バイオマス発電の建設が地方創生に資することについて舛添東京都知事と國定三条市長との意見交換を実施
- H27.10.15 発電所用地売買契約締結
- H27.11.27 木質バイオマス発電事業の運営に関する協定締結

### 3 今後のスケジュール

- H27.8 地質調査（実施済）
- H28.11～ 現地施工開始予定
- H29.11～ 営業運転開始予定



### 4 事業効果

CO2削減

適切な間伐による里山保全

+

自然災害の防止

林業の振興  
林業従事者の収入安定

+

木質バイオマス発電所（完成予想図）

発電所、間伐作業等での新規雇用創出  
（平成31年度までに75人程度の雇用創出を想定）

資源循環型社会の形成



= 地方の活性化



### 5 今後の重点的な取組

燃料となる間伐材等（年間約6万トン）の安定的な供給体制の構築



# 2 住み続け選ばれるまちの実現

## 1 持続可能な社会の基盤づくり (1) 農地・里山環境の保全

取組内容  
(案)

- (1) 余剰分剪定枝の雑草抑制材としての活用
- (2) 余剰分剪定枝をチップ炭に加工⇒完熟堆肥と混合した新たな質の高いエコ堆肥の生産
- (3) 広葉樹幹の薪としての活用

堆肥化



剪定枝



広葉樹幹



針葉樹幹



緑のリサイクルセンター

(3)薪としての活用

市民等に販売



(1)雑草抑制材としての活用



余剰分の有効利用

堆肥以外の活用も広報



平成28年度予算要求

剪定枝等炭化装置

(2)堆肥の高品質化



チップ炭



エコ堆肥で作った美味しい野菜♪



エコ堆肥

他商品との差別化・利用拡大



良質な堆肥

連携



完熟堆肥化センター

下田地域での農作物栽培利用予定

黒ニンニク



においが少ない、滋養強壮、疲労回復、血液サラサラ効果など

ブルーベリー



実の収穫の他、花や紅葉も楽しめる。

## 2 住み続け選ばれるまちの実現

### 2 まちの魅力向上への取組 (3) 公共交通の充実

#### 【デマンド交通おでかけパス事業概要】

- ・ 総合計画のパイロット事業モデル地区の「下田地域」と市街地等の停留所を発着場所として、三条市デマンド交通ひめさゆりの社会実験を行うもの。
- ・ 下田地域在住の65歳以上の方を対象に、デマンド交通で複数乗車時に割引が適用されるデマンド交通ひめさゆりおでかけパスを発行する。

#### 【実施目的】

- (1) 複数乗車率の向上  
⇒デマンド交通の課題の解決
- (2) 高齢者の外出機会を容易にするための公共交通の充実



#### “極” 間移動者の負担軽減

(通院などの支援)

800円 **割引料金** 500円

三条市デマンド交通ひめさゆりおでかけパス

発行(1,000円)/年

#### 高齢者の外出促進による健幸づくり

(まちなか交流広場や市場などへのおでかけ支援)

協賛店



各種特典

デマンド交通おでかけパス

提示

#### 地域経済の活性化

(おでかけパス提示による協賛店等での各種サービス)

#### 【事業効果】

- ・ 高齢者の外出機会の創出 (スマートウエルネス三条の推進)
- ・ 遠隔地住民の負担軽減
- ・ 高齢者運転免許証自主返納への動機づけ  
※道交法改正による75歳以上ドライバーの認知機能検査の強化
- ・ 複数乗車率の向上 (運行の効率化)